

「農業で地域を活気づける！」

首藤 聖樹 (24歳) 新規学卒
(西条市)



1 就農の動機・理由

家業の農業を継ぐため農業高校に進学。課外授業で米の栽培から販売までを体験し、農業の面白さを実感した。高校卒業後は、農業経営を深く学ぶため、日本農業経営大学校に進学。経営の基礎から学び、卒業後就農。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男2人(本人、父)	男2人(本人、父) 女1人(母)	男2人(本人、父) 女1人(母)
経営耕地	畑 50a	畑 70a	畑 70a
経営内容	アスパラガス 20a ピーマン 10a	アスパラガス 20a ピーマン 10a さつまいも 18a	アスパラガス 20a ピーマン 10a さつまいも 18a

○農業用施設

農業用倉庫 1棟
ビニールハウス 11棟

○主要農業機械

トラクター 1台
軽トラック 1台
箱バン 1台
動力噴霧器 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県西条市

就農研修歴

日本農業経営大学校

(H31. 4. 1~R2. 3. 31)

就農年月 令和2年4月

(2) 就農時の思い

父とは別経営のため、自分の経営がうまくできるかという不安は大きかった。しかし、最初から全てがうまくいくことは無いと大学校や先輩農家から学んでいたため、まずはアスパラガスからと優先順位をつけて取り組むことができた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

JAの部会で、指導員や先輩農家と積極的に関わり情報交換を行った。また、地域農業育成室が企画する講習会や就農初期研修会にも積極的に参加し、基礎や新しい知識を学んだ。

(2) 資金の準備

農業次世代人材投資事業の経営開始資金や、日本政策金融公庫の資金を活用している。

(3) 農地・住宅の確保

祖母の土地や知人の農地を借り受けている。

(4) その他苦労したこと

近隣に同じ作物を作っている農家が少なく、病害虫等の問題が発生した際に短期間で解決が難しかった。

5 農業経営の特徴

作業記録や収量のデータを取り、PCやスマホでどこでも確認できるようにしている。

また、面白いと思った新しい技術や資材を積極的に取り入れたいと考えており、まずは小さい面積で試験的に取り入れている。

6 これからの夢

作業や作物の記録から実現性の高い計画をつくり、地域の農家と共有することで西条市の農業を盛り上げていきたい。さらに、将来的には食に関わる産業全体を盛り上げていきたい。

7 成功したキーポイント

地域の農家や JA 職員、普及指導員など様々な人と関わることで情報が入ってしやすい状態を作っている。

また、作業に優先順位をつけ、自分の経営の柱だけは崩さないように注意している。

8 就農を目指す方へのアドバイス

計画通りにいかないことはよくあります。致命傷だけ避けたらあとはガンガンいきましょう！

もしものときは、親や友人、地域の仲間に早めに SOS を出すと生存確率は上がると思います。

○ 指導機関からのひとこと

就農初期研修会や青年農業者連絡協議会に出席し、積極的に質問している姿が見られます。また、意欲的に視察先を探したり、地域でアスパラガスを PR する活動へ参加したりと、大変勉強熱心です。

今後、デジタル等を活用した自身の農業経営を確立し、地域や青年農業者連絡協議会を引っ張っていく存在となることを期待しています。

執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室
電話番号 0898-68-6812



アスパラガスの出荷調製作業